

平成17年2月4日

各位

株式会社雪国まいたけ
代表取締役社長 大平 喜信
(コード番号 1378 東証第2部)
問合せ先 取締役管理本部長 結柴 敬雄
(TEL. 025 - 778 - 0111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成16年11月24日に公表した平成17年3月期(平成16年4月1日~平成17年3月31日)の業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 平成17年3月期通期業績予想数値の修正(平成16年4月1日~平成17年3月31日)
(1) 単体 (金額の単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	23,800	1,850	1,000
今回修正予想(B)	21,300	1,000	490
増減額(B-A)	2,500	850	510
増減率(%)	10.5%	45.9%	51.0%
前年同期実績(平成16年3月期)	20,520	819	505

(2) 連結 (金額の単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	25,500	1,950	1,050
今回修正予想(B)	23,650	1,020	550
増減額(B-A)	1,850	930	500
増減率(%)	7.3%	47.7%	47.6%
前年同期実績(平成16年3月期)	23,392	1,090	670

(3) 通期業績予想修正の理由

きのこの需要期である9月から12月の販売環境は、秋口での猛暑の影響、度重なる台風上陸による野菜相場の混乱、暖冬による鍋もの需要の落込み等、天候不順がもたらしたマイナス材料が重なり、きのこ業界にとっては大変厳しいものとなりました。また、こうした環境は、価格競争にも拍車をかける形となり、競合メーカーの低価格販売が繰り広げられる中、当社は、価格競争を避けるべく、品質優位性の訴求に努めてまいりました。この品質格差についての評価が得られたことで、価格の下落に歯止めをかけることはできませんでしたが、販売量は、計画を大きく下回る結果となりました。

利益面では、売上の減少に加え、平成16年10月23日新潟県中越地方を襲った地震により、建物や設備等への大きな被害こそありませんでしたが、時間の経過と共に仕掛品きのこの品質への影響が顕在化し、商品化出来ないきのこが発生するなど、徐々にその被害

が拡大し、地震後の復旧費用と共に製造コストを押し上げる結果となりました。

昨年 12 月下旬からは、ようやく平年並みの気温となり、販売環境は回復しつつありますが、前記需要期での落ち込みが大きく、前回公表いたしました通期業績予想数値を下回る見込みとなったため修正を行うものであります。

尚、当社は、平成 16 年 11 月 24 日発表しました通り、昨年 12 月 1 日より新潟県中越地震義援金活動を展開しており、義援金総額 2 億円を目標とし、平成 17 年 3 月末日まで展開してまいります。当社は、新潟県中越地方を代表する企業として、この活動を通じ、被災地の一日も早い復興に役立ちたいと考えております。これら義援金および義援金活動にかかる諸費用を見込み、上記の通り業績予想を修正いたしております。

上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上